

11月(月例研修会)  
龍王山の山城跡に登る

羽尻 嵩

11月20日。好天。柳本駅に14名が集合。  
9時過ぎ、いざ出発！  
目指すは、青垣連山の最高峰の龍王山。



登り口には、弘法大師が大和神社の神宮寺として創建した長岳寺があり、それを過ぎると急な登り道になった。



ささやぶ、木の根っこ、石ころの多い段差のある杉林の道をみんなしっかりと登っていく。

2時間ほど上り、やっと山頂にたどり着いた。山頂にはトイレもあり、少し平らになっていて、広い道もついていて、一息休憩する。

案内板には、戦国時代の武将、十市遠忠(とおちとうただ)がここに山城を築き、一帯を支配していたが、次の代になって、松永久秀、その後、織田信長との戦いに敗れ、山城も廃城になったことなどが記されていた。



案内板から林道を少し登り、さらに1段、2段、3段と段丘を上に行くと急に展望が開けてきた。みんなビックリ！ここが山城の跡だ。

〈山城跡の展望台からの眺望〉



眼下には、大和の広々と田畑や町並みが広がり、大和三山、箸墓古墳などの古墳も点在し、そしてその向こうには、それらを優しく包むように金剛・葛城・生駒の山並みが連なっている。

・あぁ大和にあらましかば いま神無月・  
昼食を食べていると、風が出てきて寒くなってきたので、早めに下山した。いい一日だった。